

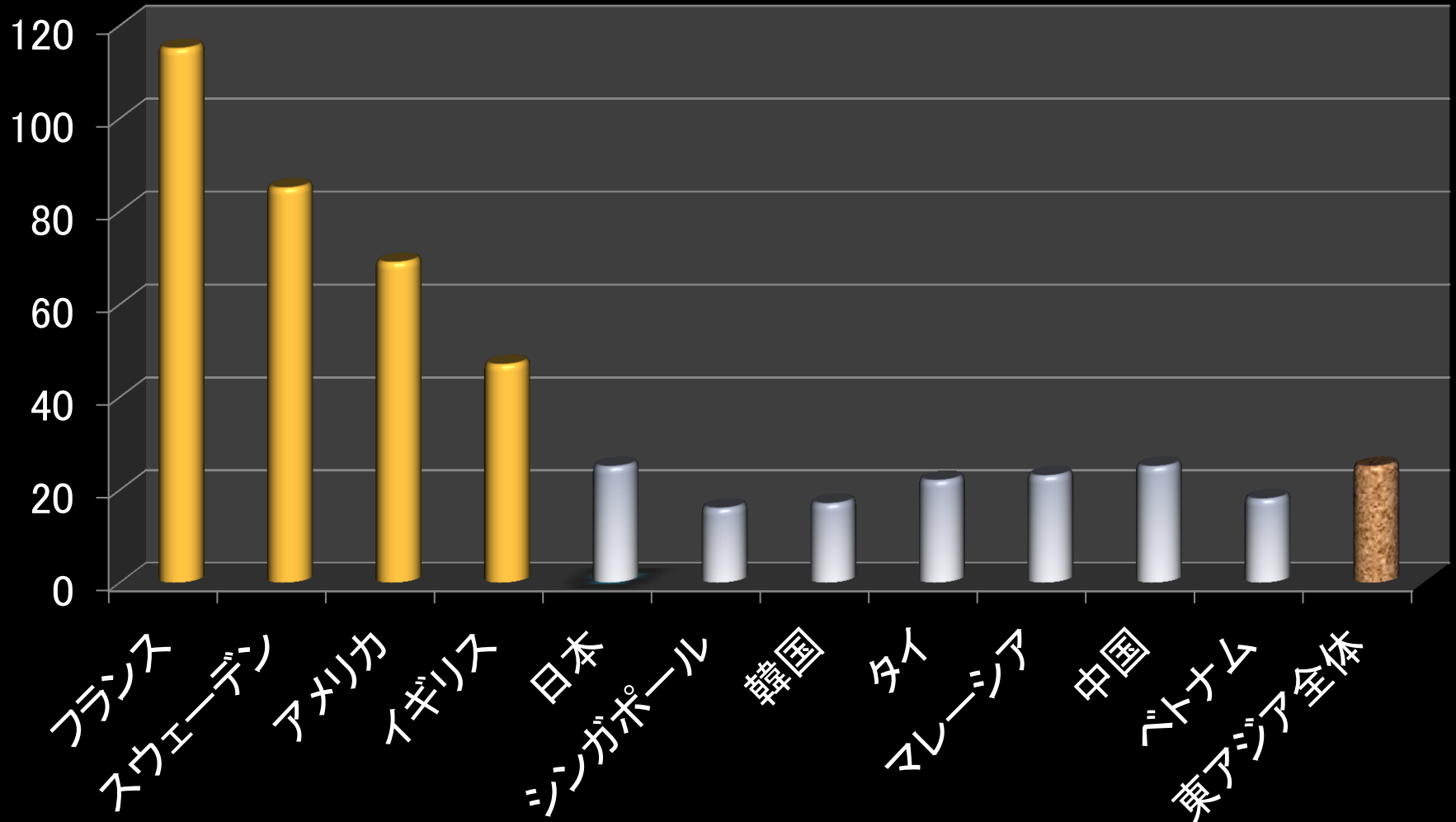
アジアの介護事情

医師会広報委員

勝田光明

高齢化社会から高齢社会になる期間

所要年数(年)



アジアの介護の考え方

中国、香港、台湾

親の介護は子供が看る

夫の介護は妻が看る

妻の介護は夫が看る

自分のことは自分でやる、出来ない時は寿命
ベトナム

親は家族で看る

日本

誰かが何とかしてくれる？



中華人民共和国

総人口:約13億人

高齢化率:9.1%・・・高齢化社会に突入

(総人口中の65歳以上の人の割合)

高齢化社会7-14%、高齢社会14-21%、超高齢化社会21%～

高齢化率、9.1%。2011年の統計で、「高齢化社会」に突入

2035年 高齢化率30%

2050年には60歳以上の高齢者が4億8000万人

この背景としては、

急速な経済成長に伴って平均寿命が延びた

建国(1949年)当時の高出生率

「一人っ子政策」による出生率の低下

上海介護施設視察

日程：2012.11.22-11.25

場所：上海周辺

詳細

1. 中国政府出資介護施設
2. 民間出資介護施設
3. 中国政府と民間出資の施設



上海の一般的な老人介護施設
月5-6万の家賃で3食
保険は医療保険は、日本同様3割負担
老人介護施設の隣の建物が病院という良い条件

蘇州介護施設視察

日程：2012.11.22-11.25

場所：蘇州周辺

詳細

1. 中国政府出資介護施設
2. 民間出資介護施設
3. 中国政府と民間出資の施設



高齢者が3-4人で日向ぼっこをし、おしゃべりをする風景をよく見るが、年齢を経てもコミュニケーションを楽しむ能力は衰えていないようだ

この日の気温は10℃前後

寒いときは服を着て、暑い日は服を脱ぐ
暖房冷房は最小限で使用、自然共に生きている



蘇州リハビリ病院



外見に比べると、内部はきれいに使用
掃除も行き届いている

写真撮影は行わなかったが、
左右の手すりを利用して、
妻が夫のリハビリを介助している

スタッフは日常のリハビリを家族に
ゆだねているようだ



カート、薬品棚には必要最小限のもの
コスト管理がかなり厳格に行われている。

インスリンは日本とほぼ同様のスタイル
で行われていた。

香港介護施設視察 1

日程：2012.12.29-2013.1.3

場所：香港周辺

詳細

1. 中国政府出資介護施設

2. 民間出資介護施設

3. 中国政府と民間出資の施設



2. 個人が出資している施設

階段を上った入り口には腰ほどの**衝立**がある
 認知症の逃走防止なのか
 スタッフの対応は比較的丁寧である
 天井が低く圧迫感がある
 装飾はクリスマスのためか煌びやかであるが
 日本人好みのセンスではない
 内装も統一性がない





香港は土地が狭くマンションなども
日本に比べ狭い、ただし値段は日本より高い
施設の部屋もやはり狭い
左は夫婦同室
ベットはパイプベッド
下の階で100人ほど、スタッフは4人
部屋は光が少なく薄暗い感じ
トイレも見たが、日本の公衆トイレのようだ



香港介護施設視察 2

日程：2012.12.29-2013.1.3

場所：香港周辺

詳細

1. 中国政府出資介護施設
2. 民間出資介護施設
3. 中国政府と民間出資の施設



3. 中国政府と民間が 出資している介護施設





食堂、クリスマスツリーは飾りがうまい
占有ペースも十分確保できている
ここで生活している方は
金銭的にゆとりがありそう





左写真はスタッフ看護師
比較的人数が少ない、服装は日本と同じ
廊下も日本ほどではないが比較的広い
香港でこの広さを確保できるのは贅沢

価格は月15－16万円くらい





ベトナム社会主義共和国

総人口：8853万人（2012年）

高齢化率：7.1%・・・高齢化社会に突入

（総人口中の65歳以上の人の割合）

高齢化社会7-14%、高齢社会14-21%、超高齢化社会21%～

高齢化率、7.1%。2011年の統計で、ベトナムも「高齢化社会」に突入

「高齢社会」（高齢化率14%以上）に達するまで、世界最速だった日本の24年、日本を上回ったタイを抜いて、ベトナムの高齢化の進行がわずか18年という推計もある。

ベトナムの場合、男性は60歳、女性は55歳が定年だから、実質的な高齢化はもっと早く進んでいる。



一般的な家庭では、家計は自然のものを扱っていることが多い。
訪問した家庭では、
養蜂業とココナッツ飴、ヤシの実を扱っていた。

自宅の長老は最も風通しがよく、
一番良い場所にゆっくりしている。

アジアから見た日本の介護

誰かがなんとかしてくれる？

この考えがあるからこそ、
日本の介護施設、日本の介護スタッフ、日本の介護の仕組みが
世界でも卓越して発展した

日本の介護の未来像

誰かがなんとかしてくれる



日本

世界に誇れる介護施設と介護技術

自分も何とかしてみよう



アジア

今日から運動、リハビリを！

自分の寿命の認識を！

家族のためなら何とかしてやろう



アジア

国民全員介護の気持ち

家族の寿命を認識